(2) 指導に当たっては，「論理・表現Ⅰ」及び第２章第８節第２款の第５の「論理・表現Ⅱ」（以下この節において「論理・表現Ⅱ」という。）の内容などを参照し，スピーチやプレゼンテーションについても，適宜指導するものとする。

第５　ディベート・ディスカッションⅡ

１　目　標

英語学習の特質を踏まえ，以下に示す，話すこと［やり取り］の領域において設定する目標の実現を目指した指導を通して，第１款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに，その過程を通して，第１款の(3)に示す資質・能力を育成する。

(1) 話すこと［やり取り］

ア　社会的な話題に関する論題について，使用する語句や文，議論の展開などにおいて，支援をほとんど活用しなくても，複数の資料を的確に活用し，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて効果的に用いて，賛成又は反対の立場をとった上で，聞き手を説得することができるよう，論理的に一貫性のある議論をすることができるようにする。

イ　社会的な話題について，使用する語句や文，議論の展開などにおいて，支援をほとんど活用しなくても，複数の資料を的確に活用し，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて効果的に用いて，課題の解決策などについて合意形成することができるよう，他者の意見などに配慮しながら自分自身の意見や主張などを詳しく話して伝え合うことができるようにする。

２　内　容

〔知識及び技能〕

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

「ディベート・ディスカッションⅠ」の２の(1)と同様に取り扱うものとする。

〔思考力，判断力，表現力等〕

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し，英語で表現したり，伝え合ったりすることに関する事項

「ディベート・ディスカッションⅠ」の２の(2)に示す事項について，この科目の１に示す，話すこと［やり取り］の領域における目標を達成するように取り扱うものとする。

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

①　言語活動に関する事項

(2)に示す事項については，(1)に示す事項を活用して，例えば，次のような話すこと［やり取り］の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して指導する。

ア　「ディベート・ディスカッションⅠ」の２の(3)の①に示す言語活動のうち，「ディベート・ディスカッションⅠ」における学習内容の定着を図るために必要なもの。

イ　話すこと［やり取り］

(ｱ) 社会的な話題に関する論題についての複数の論証文や英文資料などを読んで，論点を整理するとともに，それらを活用して自説の優位性を効果的に示したり，相手の議論に応じて，適切な質問や反論をしたりして聞き手を説得するディベートをする活動。また，やり取りした内容を踏まえて，自分自身の考えなどを整理して発表したり，文章を書いたりする活動。

(ｲ) 社会的な話題について，複数のスピーチや講義，英文資料などを聞いたり読んだりして，論点の共通点や相違点を整理，比較するとともに，課題の解決策などを効果的な理由や根拠とともに詳しく話して伝え合い，他者の意見に適切に応じて最善の解決策をまとめるためのディスカッションをする活動。また，議論した内容を踏まえて，自分自身の考えなどを整理して発表したり，文章を書いたりする活動。

②　言語の働きに関する事項

「英語コミュニケーションⅠ」の２の(3)の②と同様に取り扱うものとする。

３　内容の取扱い

(1) 「ディベート・ディスカッションⅠ」の３の(1)と同様に取り扱うものとする。

(2) 指導に当たっては，「論理・表現Ⅱ」及び第２章第８節第２款の第６の「論理・表現Ⅲ」（以下この節において「論理・表現Ⅲ」という。）の内容などを参照し，スピーチやプレゼンテーションについても，適宜指導するものとする。

第６　エッセイライティングⅠ

１　目　標

英語学習の特質を踏まえ，以下に示す，書くことの領域において設定する